

ID ^{注1)}	221108	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	----	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	令和3年度 白神山地ニホンシカ対策 ボイストラップ調査						発行年月/報告年月		
							2022年	3月	
							資料形式 ^{注2)}	その他	
調査機関	東北地方環境事務所			委託機関					
調査開始年	2015年	4月	調査期間	2021年	6月	～	2021年	11月	
調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	通年	—				
モニタリング計画	2017年3月	改訂	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(3)	
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法					
☒ 核心地域 ☒ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☐ GPS等の位置データあり 西目屋気象観測所				<p>《これまでに実施した調査項目及び調査方法》</p> <p>【ライトセンサス】（2016～2018年） 夜間、車両にて低速で進みながらスポットライトを照射し、ニホンシカを探索した。</p> <p>【ボイストラップ調査】（2018～2021年） 9～11月の夕方から朝にかけて、録音機を用いて音声データを取得し、ニホンシカの咆哮の有無を確認した。</p> <p>【越冬適地解析】（2019年） 他地域のニホンシカ出現状況を参考に白神山地における越冬適地マップを作成した。</p> <p>【ルートセンサス調査】（2020～2021年） 100～200m程度の固定区間を踏査し、シカ類の食痕の有無を確認した。</p> <p>【スポットセンサス調査】（2020～2021年） 特定植物群落等について植生調査を行い、シカ類による影響の有無を確認した。</p> <p>《2021年の実施内容》</p> <p>【ボイストラップ調査】（環境省職員実行） 世界遺産地域周辺の16地点に録音機を設置し、音声データを取得し、ニホンシカの咆哮について解析を行った。</p> <p>録音機設置地点周辺にセンサーカメラが設置されていない箇所（7地点）についてはセンサーカメラを併設した。</p> <p>■使用機器 SongMeter SM4(Wildlife Acoustic 社) ■設置期間 設置：9月上旬～中旬、回収：11月上旬～下旬 ■録音時間 15:00～7:00</p> <p>※この他にニホンシカ対策として以下の調査を実施した。 【ルートセンサス調査】（環境省職員実行） 【スポットセンサス調査】（業務委託）</p>					
<p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>									
結果概要（スペースに収まるように入力してください）									
<p>●録音機を設置した16地点のうち、4地点において合計47回のシカの咆哮が確認された（図1、図2）。</p> <p>白神山地世界遺産地域周辺では初の記録となる。</p> <p>●確認された鳴声はhowl（優位オス同士が互いの位置を主張するための咆哮・侵入初期段階にみとめられる）であった。なお、縄張り形成する優位オスが発する咆哮（moan）は記録されなかった。</p>									
図1 咆哮(howl)の時期と回数									
東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635									
《原本（データ）の帰属について》									

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

2018年～2020年の調査では主に世界遺産地域近隣に録音機を設置していたが、令和3年度は日本海沿岸地域も含む周辺地域の広い範囲にも設置範囲を広げたところ、周辺地域の4箇所において初めてオスジカの咆哮（howl）が録音された。

●併設した7地点のセンサーカメラのうち、「No3 岩崎」の地点で11月7日にニホンジカ（オス）が撮影された。

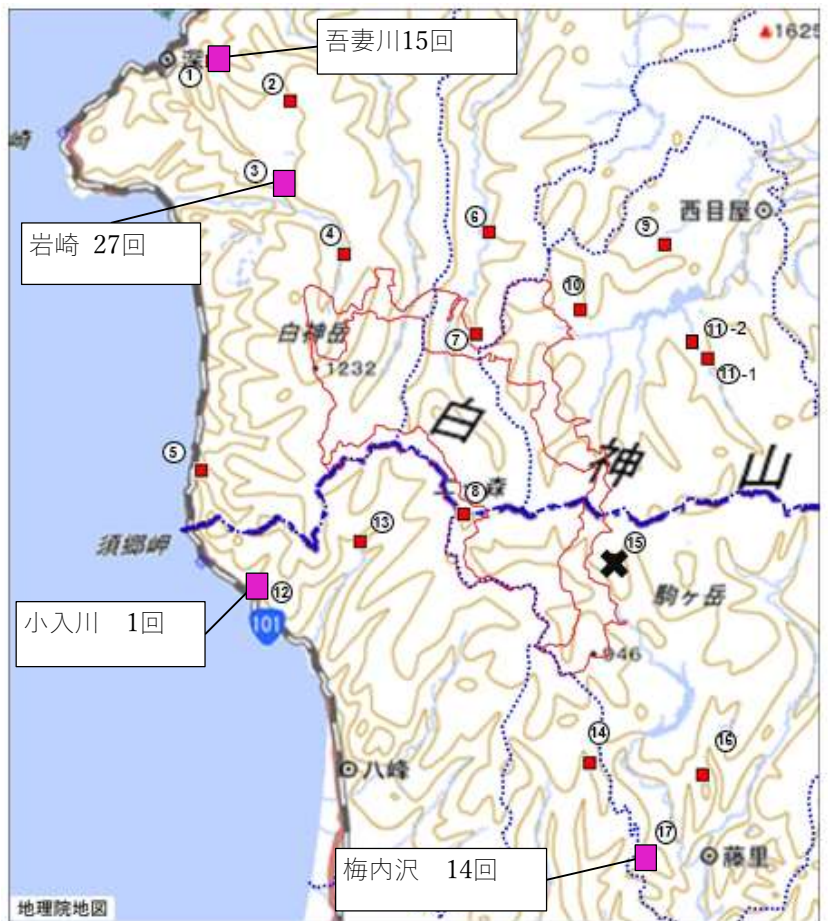


図2 録音機の設置位置とニホンジカの咆哮回数

【令和4年度 実施状況】

令和4年度は各地で林道が閉鎖されたため、世界遺産地域近隣では録音機を設置できなかった。

令和3年度に咆哮の記録がある地点については可能な限り同じ地点に録音機を設置することとした。それ以外の地点についてはセンサーカメラの撮影状況などを考慮し、再検討の上設置位置を決定した（図3）。

9月中旬～11月中旬にかけて録音機を設置し、音声データを取得した。

【結果】

併設した7地点のセンサーカメラのうち、4地点においてニホンジカ（オス）が撮影された（11月5日現在・⑦小森町、⑮里沢、⑯高石沢、⑰粕毛）。

現在、音声データを解析中である。



図3 令和4年度 録音機及びセンサーカメラの設置位置